

# ニッペ タイルラック<sup>®</sup>

環境にやさしい製品バリエーションで、建築ニーズに幅広く対応。

ホルムアルデヒド 放散 等級	F☆☆☆☆
-------------------	-------



JIS A 6909 建築用仕上塗材 複層塗材E主材  
ローラー塗装・吹き付け塗装用  
タイルラックEMA-Sベース100K

JIS A 6909 建築用仕上塗材 複層塗材RE主材  
吹き付け塗装用  
タイルラック1液EPO-Sベース

JIS A 6909 建築用仕上塗材 複層塗材Si主材  
吹き付け塗装用  
タイルラックシリカ-Sベース

# すぐれた機能性と、美しいテクスチャーが揃った ワイドバリエーション。

## 特長

### 1 JIS A 6909建築用仕上塗材複層塗材E/複層塗材RE/複層塗材Si主材合格

### 2 充実した製品体系

下塗り材・主材・上塗り材に豊富な種類があり、各種の条件に応じた仕様が選択できます。

### 3 すぐれた耐候性

強靭で密着性にすぐれた主材と、塗膜性能にすぐれた上塗り材との組み合わせにより長期の耐候性が得られます。

### 4 美しい仕上がり

色や仕上げ形状も多彩、凹凸模様やヘッド押さえ模様など、立体感豊かな美しいテクスチャーをとりそろえています。

#### タイルラックシリカ-Sベース [20kg]

防火材料に認定されています。

タイルラックシリカ-Sベース\*(NM-8573/不燃、QM-9813/準不燃、RM-9362/難燃)

\*防火性能が必要な場合は、上塗りに制限があります。上塗りには合成樹脂エマルションペイントをご使用ください。

詳しくは最寄りの営業所までお問い合わせください。

## 塗膜性能

### ●JIS A 6909複層塗材E・RE・Siの塗膜性能

試験項目	規格	E	RE	Si
低温安定性	塊がなく組成物の分離・凝集がないこと	合格	合格	合格
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	ひび割れがないこと	合格	合格	合格
付着強さ N/mm <sup>2</sup>	標準状態 複層塗材E・Si 0.7以上、複層塗材RE 1.0以上	合格	合格	合格
浸水後	複層塗材E・Si 0.5以上、複層塗材RE 0.7以上	合格	合格	合格
温冷繰返し	試験体の表面に、ひび割れ、はがれおよび膨れがなく、かつ、著しい変色および光沢低下がないこと	合格	合格	合格
透水性B法(ml)	0.5以下	合格	合格	合格
軟度変化B法(複層塗材Si)	-15~15%	-	-	合格
耐衝撃性	ひび割れ、はがれおよび著しい変形がないこと	合格	合格	合格
耐候性A法	ひび割れおよびはがれなく、変色の程度がグレースケール3号以上であること	合格	合格	合格

### ●上塗り塗膜性能

試験項目	規格	タイルラック水性トップつや一番	タイルラックEMA上塗II	ファインウレタンU100
容器の中での状態	かき混ぜたとき、塊がなく一様になること	異常なし	異常なし	異常なし
作業性	ローラー、吹付け作業に支障がないこと	異常なし	異常なし	異常なし
ボットライフ(h)	5時間以上で使用できること	-	-	合格
鏡面光沢度	60度グロス測定	85	81	80
隠ぺい力	見本品に比べて隠ぺい力が小さくないこと	異常なし	異常なし	異常なし
耐水性	水に6日間浸しても異常がないこと	異常なし	異常なし	異常なし
耐候性B法	耐候形2種 照射時間1200時間で塗膜にひび割れ、はがれ及び膨れがなく、光沢保持率は80%以上で、変色の程度がグレースケール3号以上であり白亜化的等級が1以下であること	-	-	合格*
	耐候形3種 照射時間600時間で塗膜にひび割れ、はがれ及び膨れがなく、光沢保持率は80%以上で、変色の程度がグレースケール3号以上であり白亜化的等級が1以下であること	合格*	合格*	-

\*該当規格の性能を満たしています(社内試験)

## 製品体系

工程	商品名	系統	容量	色相	塗り面積/缶当たり/1工程	ボットライフ(23℃)
下塗り材	ニッペ 水性透明シーラー*	低VOC形アクリル樹脂エマルションシーラー	15kg	乳白色	300~375m <sup>2</sup>	-
	ニッペ水性ホワイトシーラー	アクリル樹脂エマルションシーラー	15kg	白色	136~187m <sup>2</sup>	-
	ニッペー液浸透シーラー*	反応硬化形一液速乾エポキシシーラー	15kg	透明	75~250m <sup>2</sup>	-
	ニッペファイン浸透シーラー透明*	ターベン可溶2液形エポキシ樹脂シーラー	15kgセット (塗12.5kg硬2.5kg)	淡褐色	75~93m <sup>2</sup>	6時間
	ニッペファイン浸透シーラーホワイト			白色		
主材	ニッペタイルラックEMA-Sベース100K*	壁面化粧仕上げ材 (JIS A 6909 複層塗材E主材)	20kg	白	13~20m <sup>2</sup> (ローラー塗装) 10~14m <sup>2</sup> (吹き付け塗装)	-
	ニッペタイルラック1液EPO-Sベース	壁面化粧仕上げ材 (JIS A 6909 複層塗材RE主材)	20kg	白	10~20m <sup>2</sup>	-
	ニッペタイルラックシリカ-Sベース*	けい酸質系仕上げ塗材 (JIS A 6909 複層塗材Si主材)	20kg	微白色	10~13m <sup>2</sup>	-
上塗り材	ニッペタイルラック水性トップつや一番*	水性アクリルエマルションや有り塗料	15kg	各色	75~88m <sup>2</sup>	-
	オーデフレッシュU100Ⅱ*	1液水性反応硬化形ウレタン樹脂塗料	15kg	各色	88~107m <sup>2</sup>	-
	オーデフレッシュSi100Ⅲ*	1液水性反応硬化形シリコン系塗料	15kg	各色	88~107m <sup>2</sup>	-
	ニッペファインウレタンU100*	ターベン可溶2液形ポリウレタン樹脂塗料	15kgセット (塗13.5kg硬1.5kg)	各色	88~125m <sup>2</sup>	10時間
	ニッペファインシリコンフレッシュ*	超低汚染ターベン2液形アクリルシリコン樹脂塗料	15kgセット (塗12.5kg硬2.5kg)	各色	107~125m <sup>2</sup>	6時間

適用下地 ●コンクリート面(現場打ち) ●モルタル仕上げ面 ●塗り替え改修用(アクリルリシン、吹付けタイル、その他旧塗膜) ●ALCパネル

\*JIS A 6909 複層塗材E/RE/Siでは、※の商品群の組み合わせにて使用ください。上記以外にも次の製品が複層塗材E/REに適合します。

下塗り材:浸透性シーラー(新)/水性カチオンシーラー(透明・ホワイト)

上塗り材:スーパー オーデフレッシュSi/デュフロン4FIIフレッシュ/ファイン4Fセラミック(複層塗材Eのみ)

組み合わせなど詳しくは最寄りの営業所までお問い合わせください。

●上記に記載されている1缶当たりの塗り面積は、1工程当たりの塗り面積です。また、あくまでも目安であり、素地の形状により増減しますので、あらかじめご了承願います。

●2液形塗料は、塗料液に硬化剤を加えてかくはんし、ボットライフ時間以内に使用してください。

●中濃彩については、調色できないものがありますので、あらかじめご相談ください。

## 標準塗装仕様例 新設

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドベーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。	1	0.04~0.05**	2時間以上	水道水	100	はけ ウールローラー エアレススプレー
	ニッペ 水性透明シーラー						
	ニッペ水性ホワイトシーラー						
	ニッペー液浸透シーラー						
下塗り	ニッペファイン浸透シーラー(透明/ホワイト)						はけ ウールローラー エアレススプレー
	ニッペタイルラックEMA-Sベース100K	1~2	1.00~1.50	16時間以上	水道水	2~6	
	ニッペタイルラックEMA-Sベース100K	1~2	1.40~2.00	16時間以上	水道水	1~3	
	ニッペタイルラック1液EPO-Sベース	1~2	1.40~2.00	16時間以上	水道水	1~3	
主材 吹き付け塗装	JIS A 6909 複層塗材E の場合	1~2	1.50~2.00	16時間以上	水道水	0~3	タイルガン
	JIS A 6909 複層塗材E の場合						
	JIS A 6909 複層塗材RE の場合						
	JIS A 6909 複層塗材Si の場合						
ヘッド押さえ	押さえ用ローラーに塗料用シンナーAをつけ、模様吹き(吹き付け塗装)工程直後から30分の間に凸部を押さえる。						
	ニッペタイルラック水性トップつや一番	2	0.17~0.20	4時間以上	水道水	5~10	はけ・ウールローラー エアレススプレー
	オーデフレッシュU100Ⅱ		0.14~0.17	3時間以上	水道水	5~10	はけ・ウールローラー エアレススプレー

● 上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)。

● カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載しております。

特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いします。

注) 主材の使用量は塗り回数1~2回で使用するトータル量です。

※ 公共建築工事標準仕様の仕上げ塗材の下塗材としてご使用の場合には使用量が異なります。公共建築工事標準仕様に準拠した施工を実施する場合、公共建築工事標準仕様で規定された所要量にてご使用願います。

# 施工上の要点と注意事項

## (詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください)

- ・蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弹性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が剥離していることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の剥離、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
- ・ALCパネルに塗装する場合は、平滑性と表面強度を保持するため、フィラー類での下地調整が必要です。
- ・下地の状態や形状、面積、塗装温度、塗装条件などによって、見本と色調および模様の差異を生じる可能性がありますので、塗装前に試し塗りをしてください。
- ・仕上がり模様は、事前に試し塗りを行い条件などを設定してから本施工に入ってください。
- ・絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出するおそれがあります。
- ・塗装後乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
- ・乾燥後の塗膜に付いた汚れは、シンナーなどの溶剤では拭かず、せっけん水で洗浄してください。
- ・スプレーノズルの先端は、ときどき水洗いをしてください。作業能率の低下および塗りむらの原因になります。
- ・乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますか、時間とともになくなります。
- ・動物はけは、はけが固まつたりダメになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
- ・塗膜に割れが生じるおそれがあるため、軟らかい塗膜の上への塗装は避けてください。
- ・硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- ・塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようにご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
- ・旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清潔な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- ・既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でバターン合わせを行ってください。
- ・風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペー液浸透シーラー、ファイン浸透シーラーをご使用ください。
- ・シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- ・素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製Hi500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- ・表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイターンなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
- ・ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペ1材カチオンフィラー、ニッペフィラー200)などで処理してください。(合成樹脂エマルションバテの使用は避けてください。)
- ・内外壁の新設仕様の場合は、必ず下塗りにシーラーを塗装してください。
- ・素材にセメント成分などが使われている場合は、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
- ・新設の押出成形セメント板 GRC板、フレキシブルボードなどは、下塗り材としてニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペー液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをお使いください。
- ・開缶後放置する時は皮が張らないようにポリエチレンシートなどでシールし、保管してください。
- ・塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- ・塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。
- ・屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- ・塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- ・塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- ・飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- ・シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離などの不具合を起こすことがありますので、原則としてニッペペーフェクトNBシールを除き行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますか、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- ・笠木、天端など長時間水が滞留する個所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- ・薄めすぎは隠れい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- ・上塗りに汎いたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。
- ・大面积の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- ・汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ・はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がありますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ・ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。
- ・塗装方法により色相が多少変化する場合がありますので、ローラー塗りはできる限り入り間まで入れてください。
- ・ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- ・塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特にや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
- ・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- ・製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

### 安全衛生上の注意事項(ニッペタイルラック水性トップつや一番ホワイト)

横倒禁止

- ・本来の用途以外に使用しないでください。
- ・使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
- ・粉じん／ガス／蒸氣／スプレー等を吸入しないでください。
- ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。
- ・取扱い後は、手洗いおよび手を十分に洗ってください。
- ・適切な保護手袋／防毒マスクまたは防塵マスク／保護眼鏡／保護面／保護衣を着用してください。
- ・必要に応じて個人用保護具を使用してください。
- ・飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。
- ・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
- ・眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当を受けてください。
- ・取り扱った後、手を洗ってください。
- ・粉じん、蒸氣、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
- ・暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
- ・緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施する。

- ・容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。
- ・施設で子供の手の届かないところに保管してください。
- ・直射日光や水漏れは厳禁です。
- ・塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
- ・容器は、つり上げないでください。やむを得ずつり上げるときには、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)
- ・日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に曝露しないでください。
- ・内容物・容器を廃棄する時には、国／地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- ・容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

※上記の表示は、一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。  
□詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。  
□日本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

### 警告



### 危険有害性情報

強い眼刺激

## 日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9608  
東北支店 ☎022-232-6712 中国支店 ☎082-281-2180  
関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346  
北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861  
中部支店 ☎052-461-1960

- 本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2018 NIPPON PAINT Co.,Ltd All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.

NP-W150

TY181103T

2018年11月現在